

小学校段階 6年社会 「縄文のむらから古墳のくにへ」

ア 活動の概要

「住んでみるなら縄文時代がよいか？弥生時代がよいか？」の討論をした。自分が住むなら、縄文時代か弥生時代かという立場と、なぜその理由にしたのかを記入することができるようフォームを作成した。児童は、同時にスプレッドシートを開き、他の児童が打ち込んだ意見を読みながら、考えを深めるという活動である。



【タブレットを見ながら発言する児童】

イ 活用したアプリ

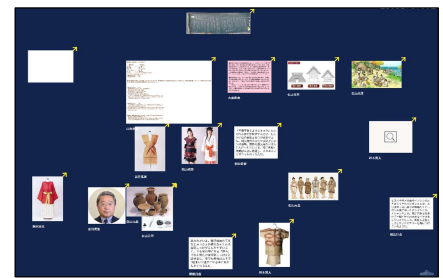
a スプレッドシート

児童の意見を集約するために、Formsで質問項目を作成し、回答するようにした。それを見ながら、質問をしたり、反論をしたりした。

b ロイロノート

討論中に、発言の根拠となる資料やWebサイトを全員に送るために活用した。根拠が分かりやすくなるとともに、画像が見やすく、活発な討論となった。

写真は、「縄文時代はおしゃれだから、縄文に住みたい。」という発言をした児童に対して「おしゃれという根拠は？」と別の児童から発言があった後の画面である。児童は、インターネットを利用して調べていった中での根拠とした人物の発言や写真、そしてそれぞれの時代の服装を見付け、送り合ったものである。



【資料を送り合った後のノート】

ロイロノートは、相互の資料のやりとりがとても簡単で、便利である。見付けた資料も残るので、最後、振り返りと共に作成したノートを提出させることで、児童の学びの跡を見ることができる。

ウ 実践のコツ～チーム学校として～

a 成功談

Formsで質問事項等を作成しておき、同学年の別のクラスで同じFormsを使い、スプレッドシートに書き出すことでより多くの情報が集まり、考えや話合いが深まった。同じForms、スプレッドシートのため、準備が簡単だった。

b 留意点

ドライブにフォルダを作るなどして、資料の引き継ぎを考えておくとよい。

エ 成果と課題

a 成果

発表に苦手意識をもつ児童が、自分の意見を進んでFormsに打ち込むことができた。

討論中に、スプレッドシートの意見を取り上げ、みんなに質問する児童も出てきた。発言が得意な児童だけでなく、苦手な児童も参加することができ、クラスの多くの児童が進んで取り組むことができた。

b 課題

Forms での質問の出し方や、スプレッドシートの開き方の指導など、児童が操作に慣れるまでに時間がかかった。また、スプレッドシートでの意見交換が盛り上がってしまい、実際の発表と端末上の両方で話合いが生じてしまったので、一定のルールの作成が必要となった。

さらに、ロイロノートで資料を送り合う活動では、資料探しに熱中してしまい、話合いに参加できない児童もいた。